

[Wiki](#)

丸山ワクチンとは、元々は皮膚結核の治療薬として誕生した薬。その後、皮膚結核、肺結核に対して著しい効果をもたらすだけでなく、ハンセン病やガンにも効果があるとして世論に一気に注目を集めた。

その後も研究が進められ、人によって効き具合は違うがワクチンを使った人の多くが効果を実感しているにもかかわらず、医師会には癌がらみでの収入が激減が予想されるためか圧力がかかり、認可にいたっていない。

舌癌末期から丸山ワクチンで復活し学会で報告したが医師会から追い出された医者もいるらしい。

実際のところ丸山ワクチンの効果が実証されているかどうかは曖昧な点が多く、癌に対する希望から、世論だけが先行していることも多い。

本当に将来有望なワクチンではあるのだが、実証されても認可されない今の日本では、実証さえまだのこのワクチンは認可されるほうが難しい現状があるようだ。

まるで「村井ワクチン」だ

そもそも「村井ワクチン」は「丸山ワクチン」が元ネタである

因みにこの丸山ワクチンと同成分の医薬品が2007年現在、ゼリア新薬工業から「アンサー20注」の製品名で出回っていて、子宮頸癌への適応の審査中である（現在フェイズ3追加試験中）。また、丸山ワクチン自体も1998年以降半永久的な治験が認められ、ワクチンの治験を引き受ける医者の下で使用可能である。
